

新年あけましておめでとうございます。今年が皆様にとりまして、実り多い年となりますようにお祈りいたします。町では現在つつがなく町政も進行しております。大きな事件や災害の発生もなく、穏やかに新年を迎えることができますのも、ひとえに皆様方のご協力のお陰と深く感謝いたします。

—子どもたちは町の宝—

さて、今年の干支である「戌」にちなんで、皆様も多方面で思い切りジャンプし、力強く疾走して成果を出していただければ幸いです。野木町は、子育てしやすく住みやすい町として、大方の皆様徐徐に認めていただいております。若いファミリーがもっと町に移り住んでくださるよう施策の充実を図っていきたく思います。元気に遊ぶ子どもたち一人ひとりがさらにキラリと輝けるような町になることが、私の夢でもあります。一方で、子どもたちの夢はこれからも無限大に膨らみ、その夢の実現のために、私たち大人が共に歩調を合わせていけたら素晴らしいと思います。野木町の子どもたちは私たちみんなの宝として、健やかな成長と夢の実現のためにみんなで応援していきましょう。



野木神社のふくろう



野木町長
真瀬宏子

—県南のキラ星★野木町—

野木町は栃木県の南の玄関口であるとともに大きな市に囲まれた「かわいらしく、小さな町」でもあります。町内に施設はコンパクトにまとまっているので、暮らしやすい環境にあります。顔の見える関係が生まれ、丁度いい大きさなのかもしれません。「小さくてもキラリと光るまち野木町」がもっときらきら輝くためにも町の認知度を高めていきたいと思えます。今年あらゆる機会に、町の観光資源を最大限活用してまいります。煉瓦窯やひまわりの花、ふくろうも棲む招福のまちを宣伝し、町の誇りが皆様の胸にしつかりと刻めるように努力してまいります。

—支えあう町—

私たちは一人では生きていきません。「人」の文字のように、誰かと支えあってこそ勇気が湧いてくるというものです。顔が見える形で支えあうしくみが野木町ではできると思っています。今年も引き続き、自助、公助、共助の研究と実践を心に留めてまいります。みんなが助けあえる社会のネットワーク作りも更に進めてまいります。多くの人々の支えあいのしくみができ、福祉のまちに相応しい姿を作っていきます。

—花とレンガの町—

ところで、今年の4月～6月は、デザインেশョンキャンペーンがよいよ本番となります。みんなで野木町を「ひまわりの里」として宣伝していきましょう。そして、なんと7月の「ひまわりフェスティバル」と野木町煉瓦窯の行事はみんなで大いに盛り上げていきましょう。

以上、年の初めにあたり、私の抱負の一端を申し上げましたが、今後もより良いまちづくりを目指して前進していきたくと思えます。それには何といたっても皆様のご協力が必要ですので、どうぞよろしくご支援の程をお願い申し上げます。今年も皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りし、新年のご挨拶といたします。

ごあいさつ

謹んで
新年のごあいさつを
申し上げます

ポテンシャルを引き出す まちづくりと議会運営

明けましておめでとうございます。

希望に満ちた平成30年の新春を健やかにお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、日頃より町政の発展と議会運営に深いご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

昨年5月の臨時議会で議長職を拝命し公務に臨んだこの8ヶ月間、併せて栃木県町村議長会会長・関東町村議長会監事・東日本町村議長会理事・全国町村議長会の各種委員会委員としての公務を兼任し、忙しい日々を送って参りました。

これらの組織では、各々の地域における地方自治の課題や展望について意見交換や国への提言を検討しておりますが、野木町議会に重点をおいた議員活動をしてきた私にとっては、ひとまわり広い視野で行政を捉え、異なる視点から野木町を見つめる機会を得ることができました。

とりわけ、東日本町村議長会会長会議では、都道府県の会長が一堂に会する会長会議、並びに渡良瀬遊水地と野木町煉瓦窯の視察を招致し、執行部やボランティア団体の協力を得、野木町を広く紹介し、多くの方々より賞賛をいただきましたことをご報告いたします。

住むところ変われば見方も変わるといったところででしょうか？

「平坦で起伏のない野木町は、海や山を抱え自然災害と隣り合わせの自治体からすれば、農業振興や企業誘致、住宅や工場の開発行為など、様々な施策に対し高いポテンシャルを持つ、非常に恵まれたロケーションで、多くの可能性を秘めた魅力ある自治体である。」とのコメントをいただき、「まだまだ野木町には発展の道を辿る潜在能力があるのだ」と新たな希望を感じました。

一方、議長経験の浅い私にとって、経験豊かな全国の議長会会長との交流で「蓄積された経験には力がある」ということも痛感させられました。

地方自治に長く身を置き、議会運営に精通した方々との交流を通し、まだまだ

だ学ぶべきことが山積すると感じ、とにかく今は「出会いを活かす」「信頼される人間力を身に付ける」を常に心がけ、謙虚さを忘れず、多くの方々との交流により己を磨き上げ、議長職を全うすることに専念しようと考えております。

議長として初めての新年を迎えるにあたり、今年には「信頼される人、信頼ある議会」をモットーに、様々な可能性を秘めた野木町の未来を語り合う議会運営を目指します。

そのためにも、今年の町議会では、議会だよりや議会報告会の充実による議会の広報公聴活動の推進、議会基本条例の検証、予算決算の審議を本会議方式から常任委員会方式へ移行するなど、議員全員による十分な議論を重ねながら、開かれた議会の実現に向け、一歩ずつ前進できるよう、議会改革に一層の努力を傾注し、町民福祉の向上に寄与する議会運営に全力を尽くします。

平成30年という節目を迎え、未来へ続く野木町の発展のため、皆様には、引き続き本年も力強いご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



東日本町村議長会による煉瓦窯視察研修

2018年(平成30年)



新年の